

「医学教育モデル・コア・カリキュラム 令和4年度改訂版」の対応表（小項目・学修事項順）

学修事項		対応する節
PS-03	全身に及ぶ生理的变化, 病態, 診断, 治療	
PS-03-04	腫瘍	
PS-03-04-05	腫瘍の内視鏡検査・画像検査（エックス線, CT, MRI, PET・核医学, 超音波等）の異常所見がわかり診断できる。	2章-1 放射線診断
PS-03-04-24	主な腫瘍の放射線療法・インターベンショナルラジオロジーの適応について概要を理解している。	2章-1 放射線診断 2章-2 放射線治療
PS-03-06	放射線の生体影響と適切な利用, 放射線障害	
PS-03-06-01	放射線の種類と放射能, これらの性質・定量法・単位について概要を理解している。	1章-1 放射線の物理的性質 1章-2 放射線と物質の相互作用 3章-1 放射線防護の体系と基準 3章-2 測定値の意味するところ
PS-03-06-02	内部被ばくと外部被ばくについて, 線量評価やその病態, 症候, 診断と治療について概要を理解している。	2章-1 放射線診断 2章-2 放射線治療 2章-3 医療における被ばく 3章-2 測定値の意味するところ
PS-03-06-03	放射線及び電磁波の人体（胎児を含む）への影響（急性影響と晩発影響）と適切な利用法について理解している。	1章-3 放射線の生物影響（実験科学） 1章-4 放射線の人体影響（疫学） 2章-3 医療における被ばく
PS-03-06-04	種々の正常組織の放射線の透過性や放射線感受性の違いについて理解している。	1章-2 放射線と物質の相互作用 1章-3 放射線の生物影響（実験科学） 2章-2 放射線治療
PS-03-06-06	医療被ばく・職業被ばくも含めた放射線被ばく低減の3原則と安全管理を理解し, 放射線を用いる画像検査と処置（エックス線撮影, CT, 核医学, 血管造影及びインターベンショナルラジオロジー, エックス線透視等）の被ばく軽減を実行できる。	2章-3 医療における被ばく 3章-1 放射線防護の体系と基準
PS-03-06-07	放射線診断や血管造影及びインターベンショナルラジオロジー等の利益とコスト・リスク（被ばく線量, 急性・晩発影響等）を知り, 適応の有無を判断できる。	2章-1 放射線診断 2章-3 医療における被ばく
PS-03-06-08	放射線治療の生物学的原理と, 放射線の遺伝子・細胞への作用と放射線による細胞死の機序, 局所的・全身的影響について概要を理解している。	1章-3 放射線の生物影響（実験科学） 2章-2 放射線治療
CS-02	患者情報の統合, 分析と評価, 診療計画	
CS-02-04	治療（計画, 経過の評価）	
CS-02-04-15	主な放射線治療法の適応の概要を理解している。	2章-2 放射線治療
CS-02-04-16	インターベンショナルラジオロジーについて概要を理解している。	2章-1 放射線診断 2章-3 医療における被ばく
SO-01	社会保障	
SO-01-05	健康危機管理	
SO-01-05-01	健康危機の概念と種類, それらへの対応（リスクコミュニケーションを含む）について理解している。	4章-2 リスクコミュニケーション
SO-01-05-02	健康危機管理（感染症, 放射線事故, 災害等の有事）に関連する基本的な制度や法律を理解している	4章-1 放射線災害医療
SO-01-05-03	災害拠点病院, 種々の活動チーム等, 災害保健医療の意義を理解している。	4章-1 放射線災害医療